

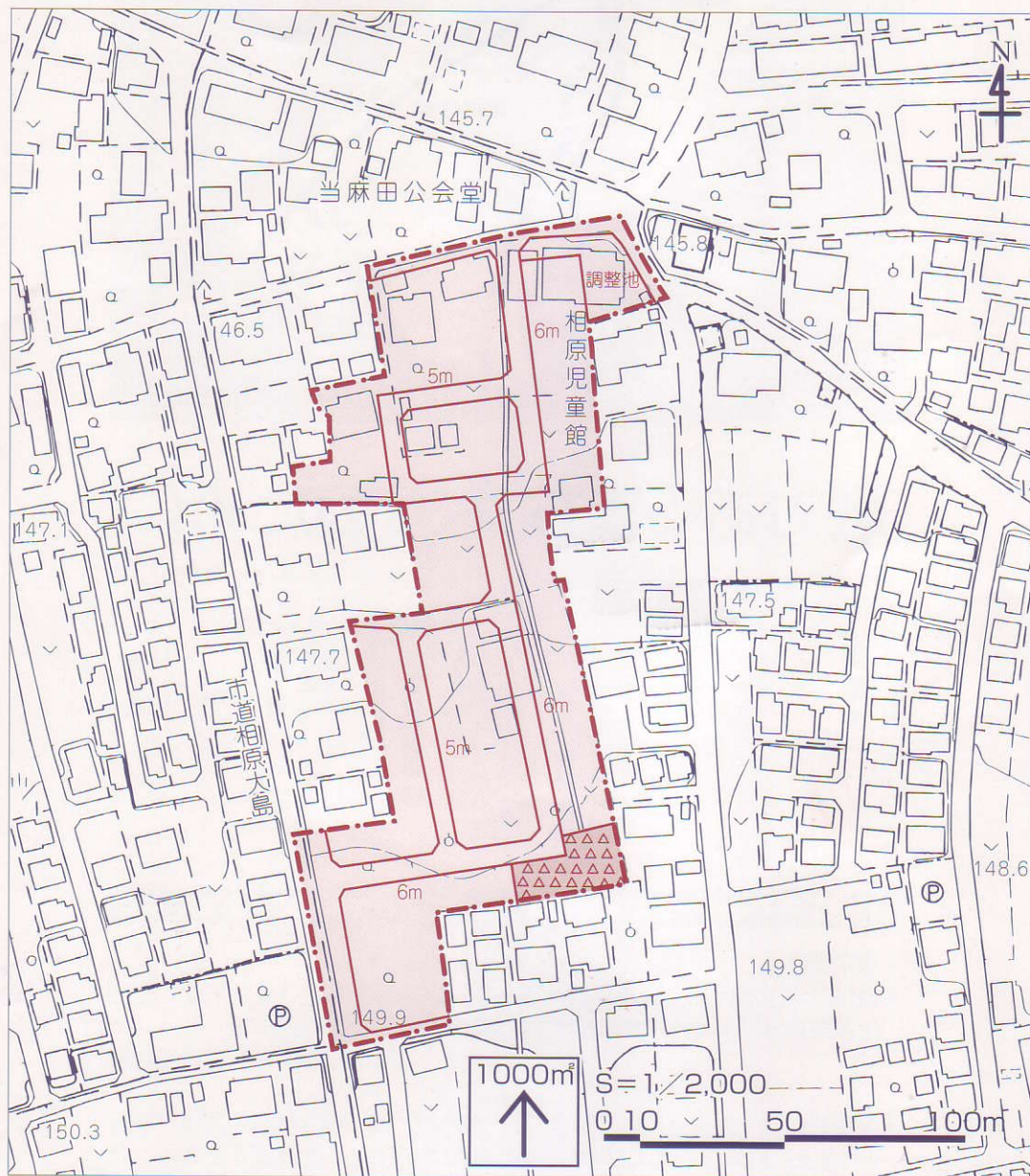
◀地区計画とまちづくり▶

地区計画は、これからこんなまちをつくりたい、こんなまちにしたいというみなさんの希望をまとめて、それを実現するために、具体的なまちづくりのルールを決めていくものです。

相原4丁目地区では、土地区画整理事業により基盤整備が行われ、良好な環境の住宅地を形成し、その環境を維持・保全することを目的に、地区計画が定められています。

計画の趣旨をご理解いただき、まちづくりへのご協力をお願いいたします。

▼相原4丁目地区 地区計画 区域図



●地区の概要

--- 地区計画区域 第一種低層住居専用地域 (80/50 防火・準防火の指定なし)

●地区施設

△△△△ 公園

●壁面の位置

道路境界線から1.0m以上、隣地境界線から0.6m以上

※用途地域の詳細は、都市計画課で、ご確認ください。

相原4丁目地区 地区計画 決定事項

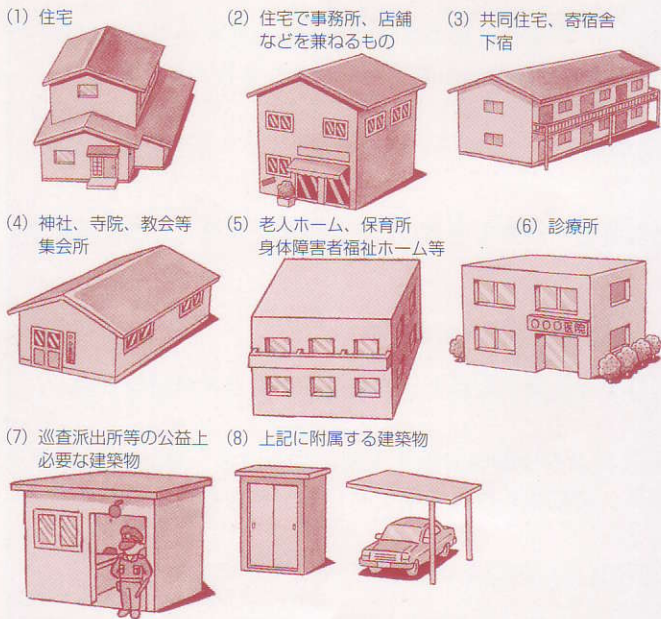
(平成12年12月25日決定)

名	称	相原4丁目地区地区計画		
位	置	相模原市相原四丁目		
面	積	約1.3ha		
区域の整備・開発及び保全の方針	地区計画の目標	<p>本地区は、相模原市の北西部に位置し、市街化区域内に残された宅地化農地を含む低層住宅地であり、土地区画整理事業により道路、公園等の基盤整備が行われる地区である。</p> <p>このため、地区計画の策定により、建築物を計画的に誘導すると共に、住宅供給を促進する地区として、良好な環境の住宅地を形成し、その環境を維持・保全することを目標とする。</p>		
	土地利用の方針	<p>土地区画整理事業による良好な基盤整備の成果を活かした戸建住宅を主体とした低層住宅の立地を図る。</p>		
	地区施設の整備方針	<p>生活環境の維持・向上を図るため、地区内に公園を整備する。</p>		
	建築物等の整備の方針	<p>良好な住環境を形成するため、緑豊かな低層住宅地として統一ある街並みの整備が図られるよう、必要な基準を設定する。</p> <p>住居の環境を保持し、宅地の細分化による住環境の悪化を防止するため、建築物の用途、敷地面積の最低限度を定めるとともに、建築物の位置を整え有効な空地を確保するため、壁面の位置の制限を行う。</p> <p>また、地区にふさわしい建築物となるように形態又は意匠の制限について定める。</p>		
	緑化の方針	<p>良好な環境を形成するため、建築物の敷地及び公園等の緑化を推進すると共に、道路に面する部分は、生け垣等にするよう努めることとする。</p>		
地区整備に関する事項	地区施設の配置及び規模	公園	面積 約420㎡	
	建築物等に備える事項	建築物等の用途の制限	<p>次に掲げる建築物以外の建築物は、建築してはならない。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 住宅 (2) 住宅で事務所、店舗その他これらに類する用途を兼ねるもののうち建築基準法施行令第130条の3に規定するもの (3) 共同住宅、寄宿舎又は下宿（専有床面積が25㎡以下の住戸を10戸以上有するものを除く。） (4) 集会所 (5) 神社、寺院、教会その他これらに類するもの (6) 老人ホーム、保育所、身体障害者福祉ホームその他これらに類するもの (7) 診療所 (8) 巡査派出所、公衆電話所その他これらに類する建築基準法施行令第130条の4に規定する公益上必要な建築物 (9) 前各号の建築物に付属するもの（建築基準法施行令第130条の5に規定するものを除く。） 	
		建築物の敷地面積の最低限度	120㎡	
			<p>ただし、次の各号のいずれかに該当する土地については、この限りでない。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 公衆便所、巡査派出所その他これらに類する公益上必要な建築物の敷地として使用する土地 (2) 告示日において現に建築物の敷地として使用されている土地で、その全部を一の敷地として使用するもの (3) 土地区画整理法による換地処分又は仮換地の指定を受けた土地で、所有権その他の権利に基づいてその全部を一の敷地として使用するもの 	
		壁面の位置の制限	<p>建築物の壁又はこれに代わる柱の面から道路境界線までの距離は、1m以上とし、隣地境界線までの距離は、0.6m以上とする。</p> <p>ただし、物置、車庫その他これらに類する用途に供する建築物で、高さが3m以下でかつ、軒の高さが2.3m以下のものについては、この限りでない。</p>	
	建築物等の形態又は意匠の制限	<p>建築物の屋根、外壁等は、良好な街並みを創出するため周囲の景観と調和したものとし、刺激的な色彩は用いないものとする。</p>		

相原4丁目地区 地区計画概要

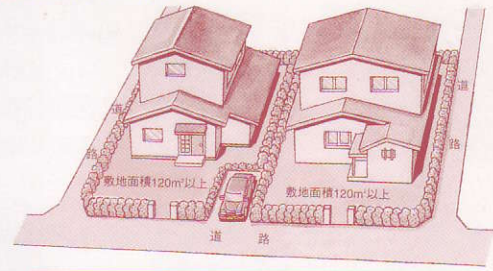
建築物の用途の制限

良好な住宅地とするため、建てられる建築物は次に掲げるものとしております。



敷地面積の最低限度

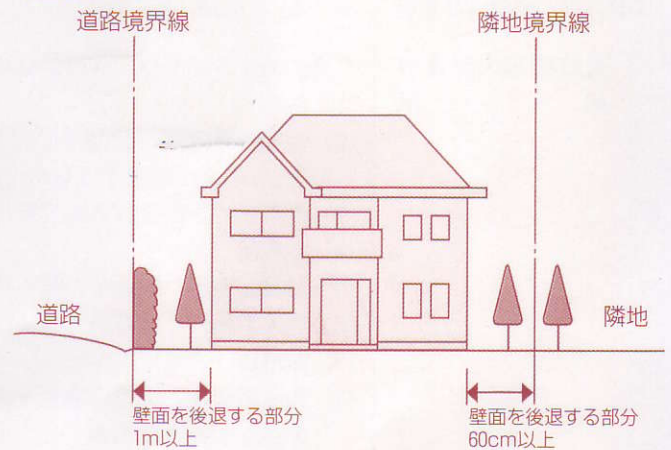
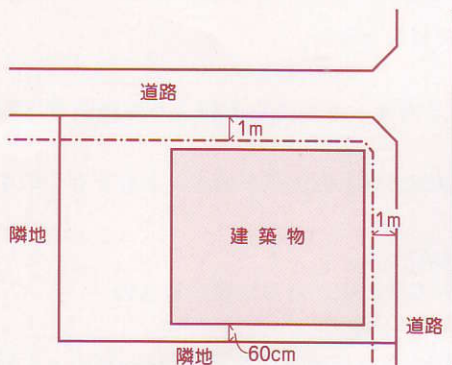
敷地の細分化による住環境の悪化を防ぐため、敷地面積の最低限度を120㎡としております。



道路	
120㎡以上 (約36坪)	120㎡以上
120㎡以上	120㎡以上 (約36坪)

壁面の位置の制限

建物の壁や柱の面は、道路境界線から1m以上、隣地境界線から60cm以上後退します。



建築物の形態又は意匠の制限

建築物の屋根、外壁等は、良好な街並みを創出するため周囲の景観と調和したものとし、刺激的な色彩は用いないものとします。



緑化の方針

ゆとりある街並みとするため、道路側に塀を設ける場合は、生け垣又は透視可能なフェンス等にするよう努めることとします。

